

発行日 2015.2.26

# 第159号 画像NEWS愛宕地区社協 発行元 広報部

件名 **愛宕地区社協まちづくり講座** 2月26日(木) 主管 福祉対策部

厚生労働省は10年後の2025年には認知症の高齢者が700万人になると推計値を示し、省庁を越えて取り組む国家戦略案を明らかにしました。目指すのは、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現とあります。

本日は岩国市地域包括センターの保険師 浴中裕子さん、上田美也子さんを講師に迎えて「愛宕地区を誰もが安心して心豊かに暮らせる福祉のまちづくり」の実現と題してお話をいただき、本日出席(33名)の皆さんと共に考える場として開催しました。

認知症は生活不活発病であり、生活を活発にすることで改善出来る病気とされています。従って、心配ごとや愚痴を聞いてくれる人がいることも大事なことですし、趣味など生きがいを持ち続けていくことが元気な高齢者になっていくのです。その為には地域ぐるみで高齢者を支える活動を広げていく必要があります、その活動の輪を広げ参加者を増やしていかななくてはなりません。今回、岩国市や愛宕地区の高齢化率の現状は全国平均と比べて高いこともわかりました。すでに具体的な活動として介護予防教室が行われていたり、地元では岩政 徳さんから七曲の会(高齢者生きがいボランティアグループ)について紹介がありました。これらの現状を知り、会の最後には会場の皆さんが「これからどんなことをしていって良いのか」についてお互いに意見交換し、各ブロックからいろいろ建設的な提案や課題などが示されました。

